

宇部常盤会の皆様へ

平成25年3月24日

宇部高専 制御情報工学科

山根 健治

定年退職を迎えて

平成25年3月末をもちまして宇部高専を定年退職することになりました制御情報工学科の山根です。37年間の長きに亘って同窓会の皆様には大変お世話になりましたので、一言お礼のご挨拶をさせていただきます。

私が本校に赴任したのは昭和51年4月のことであり、大学の修士課程修了後僅か2年間の工学部助手として勤務の後、26歳で当時2学級あった機械工学科の講師として着任致しました。教室での座学の講義は本校が初めてという“未熟者”でしたから学生を始め、教職員、ひいては卒業生の皆様にも多々ご迷惑をおかけしたと誠に申し訳なく思っています。しかしながら、この37年間、改組に伴い平成2年から制御情報工学科への配置換えもありましたが、皆様の暖かいご支援を頂き、何とか定年退職を迎えることができましたことに感謝の思いで一杯です。私は生まれつき要領が悪く、何事にも時間が懸かり、教育、研究、学生指導、様々な校務等々で多くの方々に御迷惑をかけたのではないかと危惧しています。私の人生の大半に当たる宇部高専での37年を振り返ってみると、どちらかという“子供っぽい”未熟さの残る在学中の学生が社会に出て見違えるほど成長し、企業の中で逞しく仕事を任されるようになっていく、その姿こそが、多忙な毎日の中で私に勇気と希望を与えてくれたように思います。

退職を前にして、本年1月に衝撃的な事件が起こりました。それは、誠に痛ましい出来事ですが、アルジェリアで起きたイスラム武装勢力による人質事件で10名が犠牲者となり、そのうち3名の方が高専の出身者だったということです。入学式や卒業式などで品川同窓会長から“高専出身のエンジニアが世界中で活躍している”というお話をよく聞いていましたが、社会における高専卒業生数の割合からしても、その一端を垣間見るようで、心が痛むと同時に改めて高専の役割と使命の重要性を思い知らされました。

宇部高専も創立50周年を迎えました。宇部高専の伝統を築いてこられた宇部常盤会の会員諸氏におかれましても健康に留意され、宇部高専出身の誇りを胸に益々の御活躍をお祈りしております。私は地元宇部の出身で市内に住んでいますので、これからも近くから宇部高専を見守っていきたいと思います。どうも長い間、本当に有難うございました。

以上